

# 河内長野市こども・若者の意識と生活に関する調査 結果報告書 概要版

## 1 調査の目的

本調査は、15歳～39歳の市民の皆さまから現状やご希望等をうかがい、こども基本法に基づくこども計画策定の基礎資料とさせていただくことを目的として調査を実施しました。

## 2 調査概要

- 調査対象者：市内にお住まいの15歳～39歳の方
- 調査期間：令和6年4月16日～4月30日
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による本人記入方式及びWEB回答

## 3 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
2,000件	415件 (郵送229件/WEB186件)	20.8% (郵送11.5%/WEB9.3%)

## 4 報告書の見方

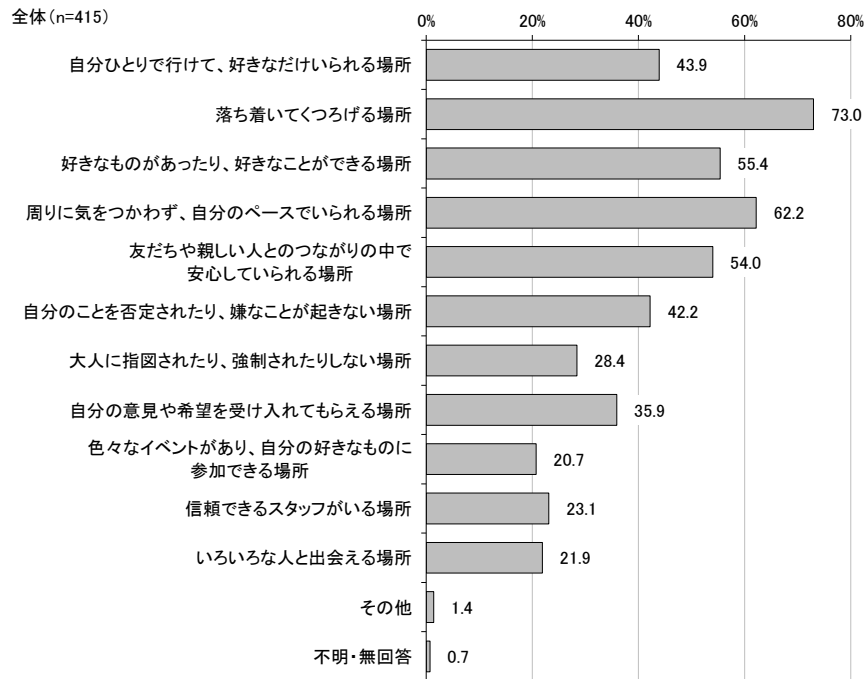
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

# 1 普段の生活について

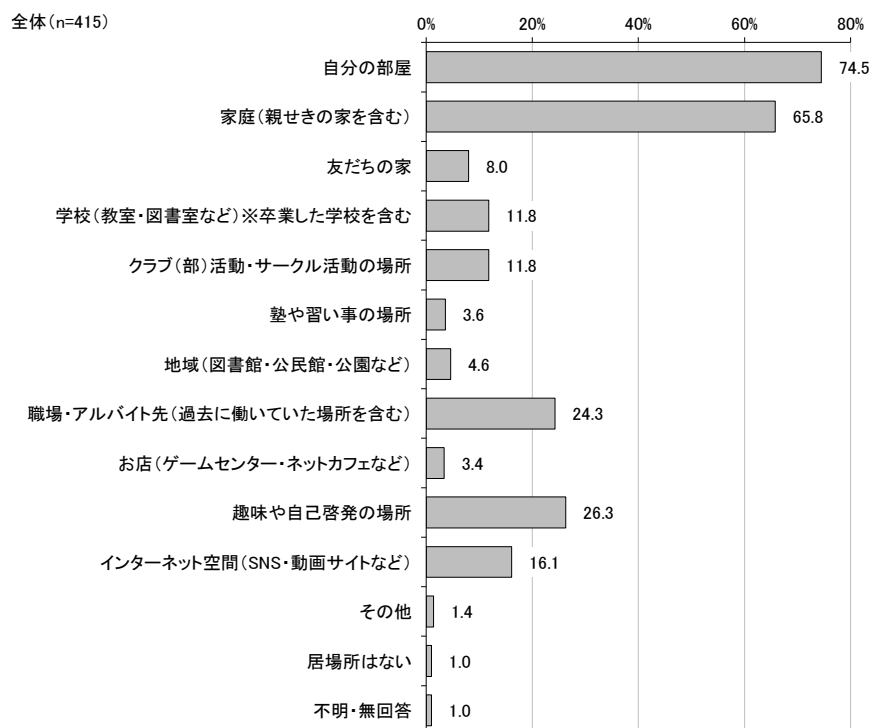
○子どもや若者にとっての「居場所」については、「落ち着いてくつろげる場所」が7割台で最も高くなっています。

○あなたにとっての「居場所」については、「自分の部屋」「家庭（親せきの家を含む）」が6割を超えています。

## ■子どもや若者にとっての「居場所」〔問 14〕



## ■あなたにとっての「居場所」〔問 15〕



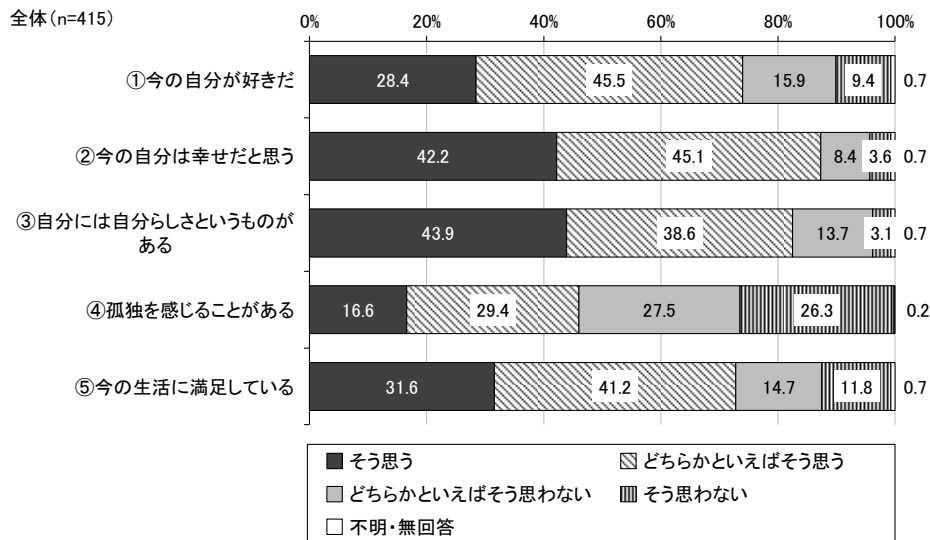
## 2 気持ちや悩み事について

○自身の思いや気持ちについては、〔④孤独を感じることもある〕を除く、すべての項目で『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算）が『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合算）を上回っています。

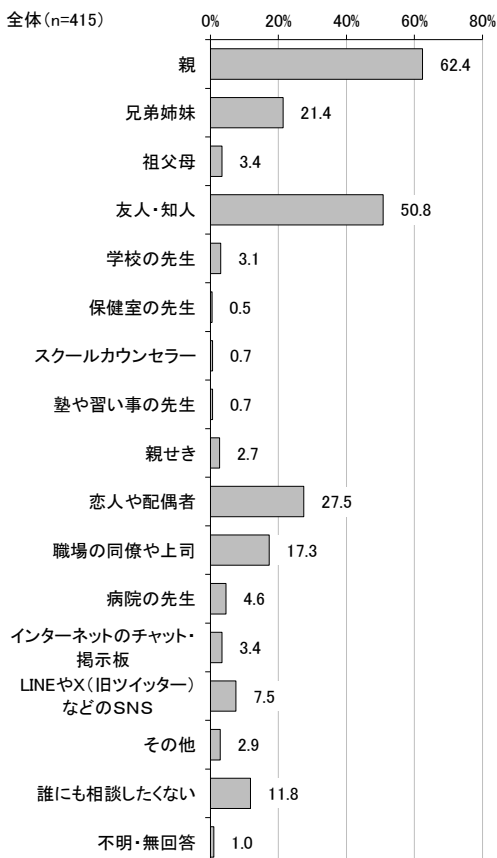
○悩みや不安を感じたときの相談先については、「親」「友人・知人」が5割を超えています。

○相談先に望むことについては、「秘密が守られる」が6割台で最も高くなっています。

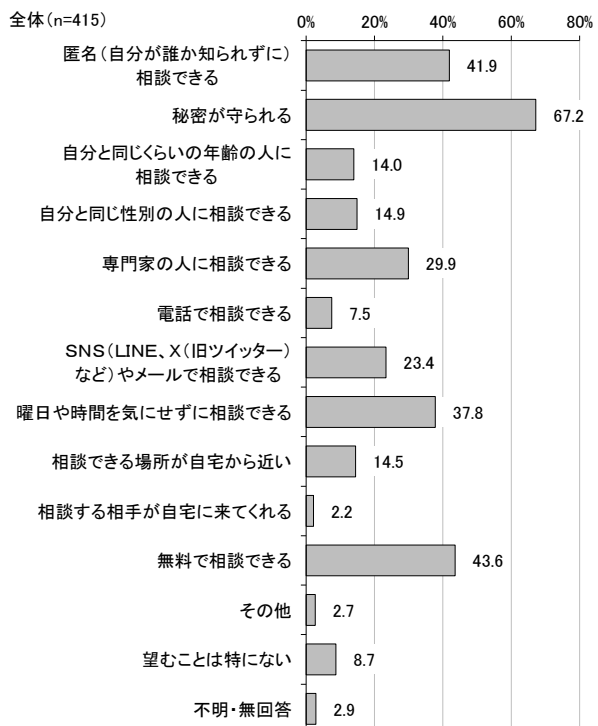
### ■自身の思いや気持ちについて〔問16〕



### ■悩みや不安を感じたときの相談先〔問18〕



### ■相談先に望むこと〔問19〕



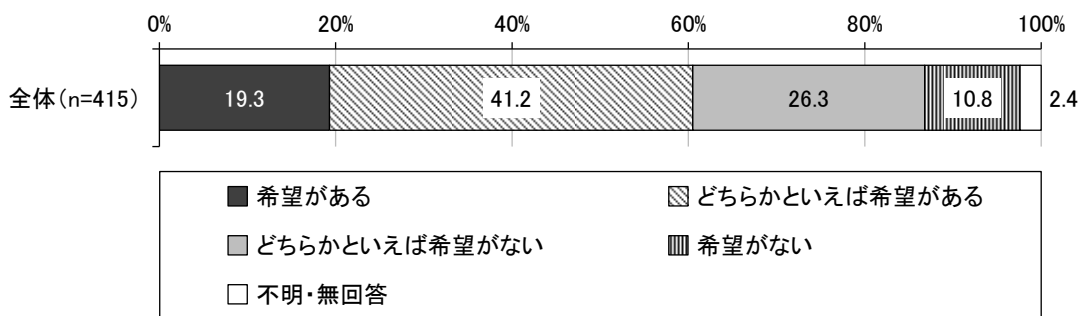
### 3 将来のことについて

○自分の将来について明るい希望を持っているかについて、『希望がある』（「希望がある」と「どちらかといえば希望がある」の合算）は6割台、『希望がない』（「希望がない」と「どちらかといえば希望がない」の合算）が3割台となっています。

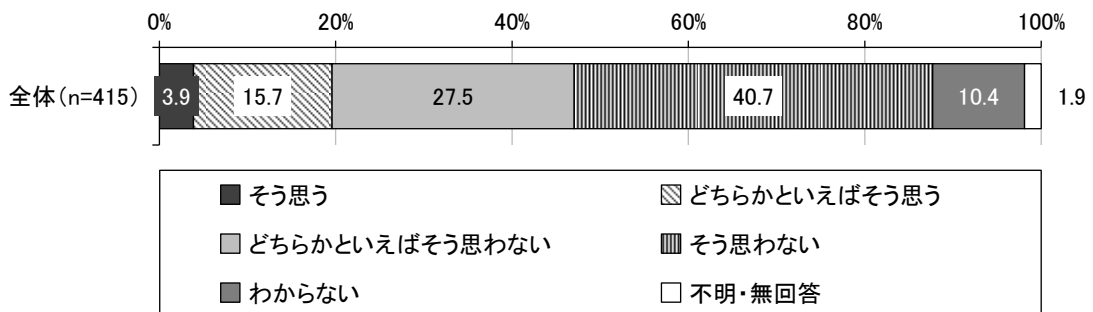
○社会が「結婚、子ども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思うかについて、「そう思わない」が4割台で最も高くなっています。

○将来、子どもを持ちたいと思うかについて、「子どもを持ちたい」が3割台で最も高くなっています。

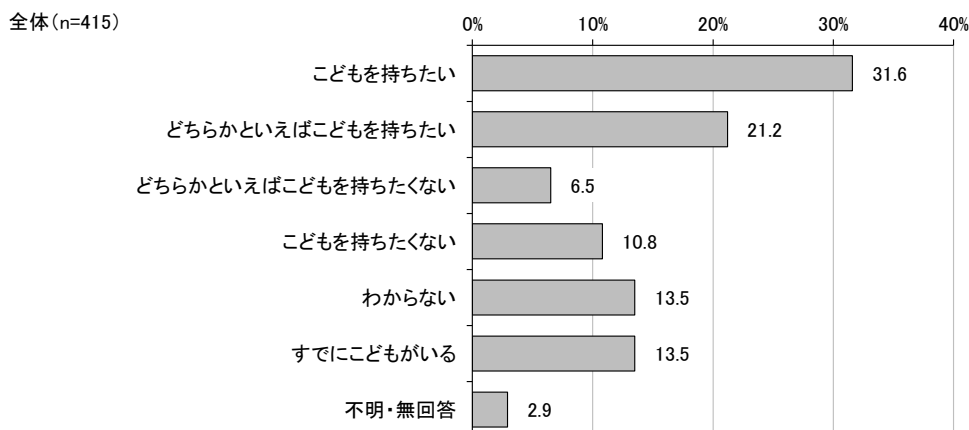
#### ■自分の将来について明るい希望を持っているか〔問 21〕



#### ■社会が「結婚、子ども・子育てに温かい社会」の実現に向かっていると思うか〔問 24〕



#### ■将来、子どもを持ちたいと思うか〔問 27〕



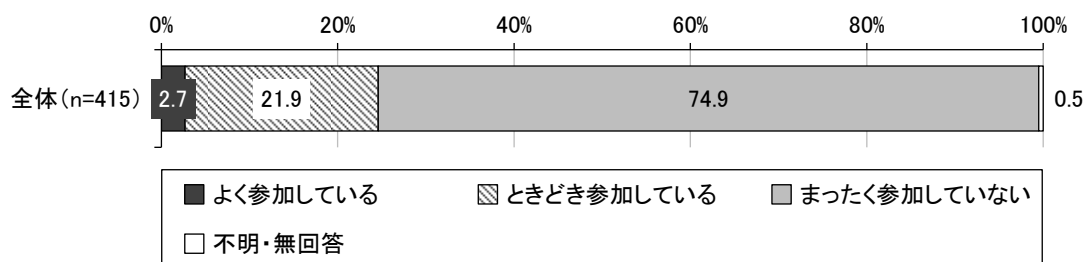
## 4 地域とのかかわりや市の取組について

○地域の活動や行事への参加状況については、「まったく参加していない」が7割台で最も高くなっています。

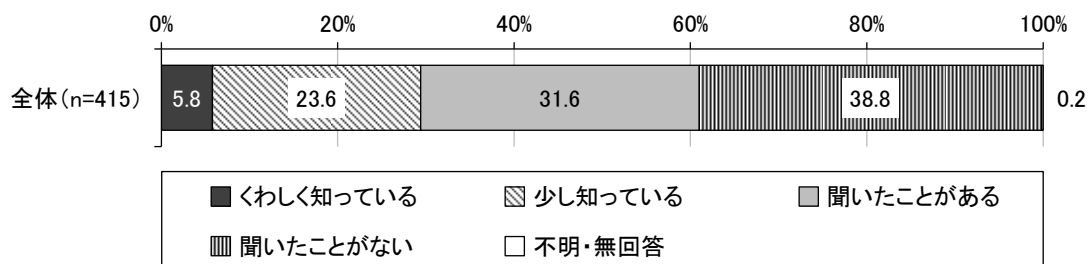
○「こどもの権利」の認知度については、「聞いたことがある」と「聞いたことがない」がともに3割台となっています。

○河内長野市が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思うかについては、「わからない」が4割台と最も高く、次いで「そう思わない」が2割台となっています。

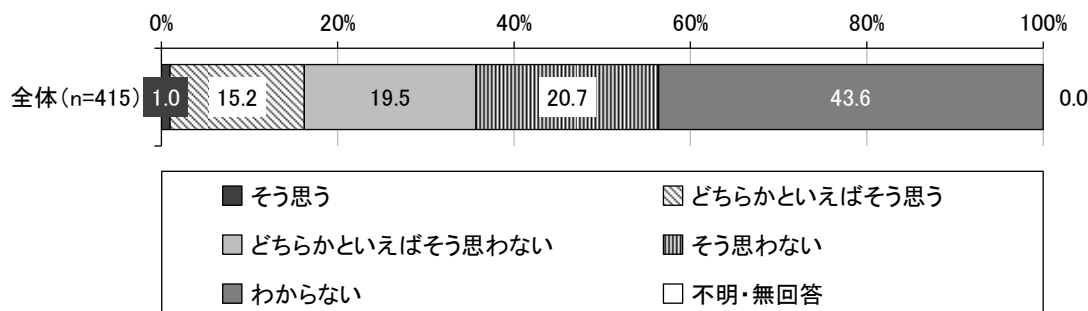
### ■地域の活動や行事への参加状況〔問 29〕



### ■「こどもの権利」の認知度〔問 32〕



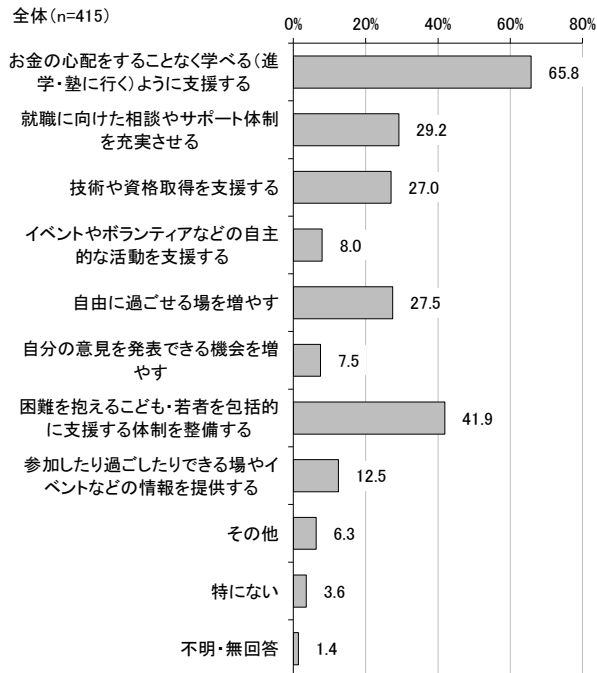
### ■河内長野市が「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思うか〔問 33〕



○河内長野市の子ども・若者のために必要な取組については、「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）ように支援する」が6割台で最も高くなっています。

○子ども・若者を対象とした育成支援機関等の認知度については、「子ども・子育て総合センター（あいっく）」と「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」がともに4割台となっています。

■河内長野市の子ども・若者のために必要な取組  
〔問 35〕



■子ども・若者を対象とした育成支援機関等の認知度  
〔問 36〕

